

研究種目：基盤研究(B)

研究期間：2006～2009

課題番号：18390582

研究課題名(和文) ストーマ保有者の生きる力形成に及ぼすWOC看護の効果

研究課題名(英文) An effect of Wound, Ostomy and Continence nursing to give a vital power for patients with stoma

研究代表者

前川 厚子 (Maekawa Atsuko)

名古屋大学・医学部(保健学科)・教授

研究者番号：20314023

研究分野：医歯薬学

科研費の分科・細目：看護学・臨床看護学

キーワード：ストーマ保有者、WOC看護、生きる力、

### 1. 研究計画の概要

消化管ならびに尿路ストーマ保有者に対する適応とWOC看護の効果について1998年に前川が開発した「ストーマ保有者の自己適応尺度」を精選し、日英共通尺度(OAI-23)として発展させ、国際比較研究を実施する。その結果に基づき、ストーマ保有者のリハビリテーションを促進することを旨とする。

### 2. 研究の進捗状況

平成18年度から21年度まで4年間に渡り日本と英国のオストミー協会会員とストーマ保有者の協力を得て「ストーマ保有者の生きる力形成に及ぼすWOC看護の効果」の研究に取り組んでいる。本研究の外的基準としてOstomate's Self Adjustment Scale(OSAS: オストミー自己適応尺度)や疾病受容尺度、SF-8のQOL尺度を用いる。

研究3年間の経緯で英国 Hertfordsher 大学看護医療学部 Simmons 氏、Smith 氏らと共同開発した英国版自己適応尺度：Ostomy Adjustment Inventory-23

(OAI-23)を用いて、日英同時に600人規模のストーマ保有者への調査を行い、尺度の信頼性と妥当性ならびに実証データにおける民族性などを統計的に比較検討した。これまでの研究成果は日本、オーストリア、スロベニアで開催されたストーマ関連学会で発し、WOC看護学領域において最も権威ある雑誌である Journal of ostomy, wound and continence nursing

(36(1), P69-75, 2009.)に原著論文が掲

載された。

また、シンガポール総合病院で英語・中国語圏の患者に対するOAI-23の調査を行っている。共通尺度を用いて異文化交流を行い、アジアにおけるストーマ保有者に対する第一次調査を実施しているところである。他にもブラジル・サンパウロ大学看護学部、オランダオストミー協会との共同研究を進めている。

現在日本人のほうが英国人よりもストーマ手術後のリハビリテーションにおいて適応状態スコアが低いという結果が得られたのであるが、その統計的な解釈における文化的要因を多面的に検討している。

### 3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している

(1) OAI23ツールは日本語から英語への翻訳を行い、日英共通尺度開発を終えた。また英文ジャーナルに原著論文が掲載されたので当初の予定通りに進めることができたと考える。

(2) 現在、日英の文化的な背景の差を踏まえ、ストーマ保有者の適応水準の相違についてデータを検討し、英語論文を作成している。

(3) シンガポールにおける共同研究では英語のOAI23を英語版で使用するほかシンガポール・チャイニーズに翻訳して尺度の内容妥当性を検証しているが文字が読め、抽象的な内容を解釈できる対象者のリクルートが難しい。

#### 4. 今後の研究の推進方策

国際比較のために国際学会に参加し、オランダ、アメリカ合衆国、アジア諸国における共同研究者をリクルートしていく予定である。その上で、共通の関連要因からなる質問項目内容をもつ質問紙を作り、多国間同時に調査を実施し分析する予定である。その成果は毎年開催されるストーマ関連国際学会で発表し、グローバルスタンダードのストーマケア開発に役立つようにしていきたい。

#### 5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計5件)

- 1) Kingsley Simmons, Jane Smith、Atsuko Maekawa : Development and Psychometric Evaluation of the Ostomy Adjustment Inventory-23、Journal of Wound, Ostomy and Continence Nursing. 36 (1) 2009. 査読有
- 2) 前川厚子 : ストーマ保有者への尊厳あるエンゼルケアの推進、消化器外科 Nursing. 14, 2009. 査読なし
- 3) 前川厚子, 竹井留美, 祖父江正代, 吉田和枝, 小林文子, 渡辺富美子 : 在宅看護学の教科書におけるストーマケアのコンテンツ、日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会誌、25 (1) 2009、査読有
- 4) 吉田和枝, 高植幸子, 前川厚子 : 壮年期の潰瘍性大腸炎患者のセクシュアリティ、日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会誌、25 (1) 2009. 査読有
- 5) 祖父江正代, 前川厚子, 竹井留美, 馬場真子 : ストーマ保有者にみられる

スピリチュアルペイン構造, 日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会誌、25

(1) 2009. 査読有

[学会発表] (計5件)

- 1) 吉田和枝, 高植幸子, 前川厚子 : 壮年期の潰瘍性大腸炎患者のセクシュアリティ、日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会誌、25 (1) 2009. 査読有 日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会、青森 2009年2月28日
- 2) 祖父江正代, 前川厚子, 竹井留美, 馬場真子 : ストーマ保有者にみられるスピリチュアルペイン構造、日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会、青森 2009年2月28日
- 3) 前川厚子, 竹井留美, 祖父江正代, 吉田和枝, 小林文子, 渡辺富美子 : 在宅看護学の教科書におけるストーマケアのコンテンツ、日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会、青森 2009年2月28日
- 4) Atsuko Maekawa, Rumi Takei, Masayo Sobue, Masako Makino, Noriko Menju: An experience to live with urinary stoma. WCET(国際ストーマリハビリテーション学会、スロベニア、2008年6月15-19日、ルブリアーナ
- 5) Masayo Sobue, Atsuko Maekawa, Rumi Takei: Befor and after、WCET(国際ストーマリハビリテーション学会、スロベニア、2008年6月15-19日、ルブリアーナ

[図書] (計1件)

- 1) 竹井留美, 前川厚子 : 病期、病態、重症度から見た疾患別看護過程+病態関連図、大腸がん患者の看護 (p382-393)、潰瘍性大腸炎患者の看護 (p416-427)、医学書院。2008年12月